

(単元) 国際社会と人類の課題, 国際社会の現状と課題

(本時のねらい)

- ・世界には多様な人種や民族が存在しており, 人種や民族の違いがどうして対立に結びつくのか考えさせる。
- ・人種や民族の対立を乗り越えて, 人々が連帯・強調していく方策を考察させる。

(ICT活用方法)

- ・写真や地図, 年表を投影する。

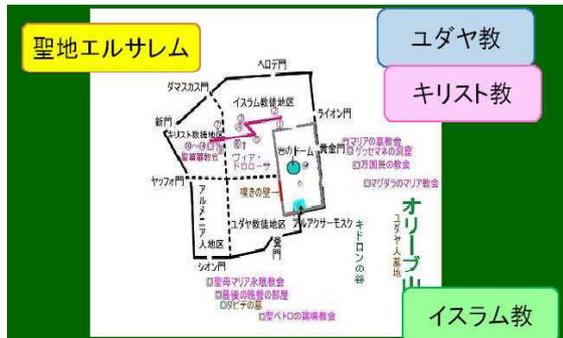
(本時の展開)

時 間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	○冷戦終結後の民族紛争の激化を確認する。	○世界の民族紛争地図や年表を提示し, その多いことを認識させる。	○電子黒板に投影された民族紛争の地図や年表を確認する。画面のスクロールにより数の多さを確認する。	
展開 40分	○民族と人種の定義について理解する。 ○アイヌ人について学習したことをグループごとに発表する。 ○民族対立がどのような原因によって起こったかについて考える。 ○民族問題を解決	○グループでまとめた意見の発表及び他のグループの意見を傾聴させることにより, 「アイヌ人について」についての認識を深めさせる。 ○アイヌ人と日本人との関係(身近な具体例)をもとに考察させる。	○写真を電子黒板に投影する。 ○エルサレムでの写真を見せ, よりリアルに宗教対立を理解させる。 ○各グループでパワーポイントにまとめた内容を発表する。	

	し民族間の対立をなくすためにはどのようなことが必要かを考える。			
まとめ 5分	○相互の文化・宗教・習俗等について理解する。	○相互理解のための知識を養うことの重要性に留意する。		

(授業の教材)

実際に行った写真やビデオを教材化することでより具体的な授業を展開し、民族や宗教の儀式を理解させる。その際、現物の宗教的衣装を用いることにより、リアリティを持たせる。



(生徒の反応と課題, 改善する点)

教師が実際に観光し、撮ってきた写真を電子黒板で投影したり、アザーンなどは空港で録画したものを流すことによってよりリアルに宗教や民族の特徴を理解させることができた。電子黒板を活用することにより、教師の体験を教材化することが容易になり、学習の内容を具体的にすることができ、生徒にとってより身近な内容となることで理解を深めることができると思われる。

改善する点はTVやDVDの教材化がもっと容易になれば、多様な授業が展開できると思われる。そのためには教師自身のICT活用の力量が問われることになるため、より研修が必要になるのではないだろうか。

